

町報

かわにし

2010
9.15
No.1076

特集

読書で育む心の豊かさ



9月の町税

固定資産税・都市計画税 (3期)
国民健康保険税 (3期)
介護保険料 (3期)
後期高齢者医療保険料 (3期)
上下水道使用料 (8月分)

口座振替日 9月28日(木)
納付期限 9月30日(金)

川西町の人口 ▶ 17,583 人 (△25)

男 8,571 (△14) / 女 9,017 人 (△11) / 世帯数 5,289 戸 (△5)

※8月末現在の住民基本台帳人口()内は前月との比較



2010 国民読書年

「国民読書年」とは？

平成20年6月、「国民読書年に関する決議」において、2010年を「国民読書年」とする事が国会で決議されました。

読書は、我々の人生をより豊かなものにするだけでなく、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

この決議では、読書の街づくりの広がりや様々な読書に関する市民活動の活性化など、読書への国民の意識を高めるため政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねることが宣言されています。

読書で育む 心の豊かさ

みなさん今年が、「国民読書年」ということをご存じでしたか？

国民読書年とは、活字離れ・読書離れが進む中、社会全体で読書を通して、心豊かな社会を実現していこうという取り組みです。

町には、本町出身の作家・劇作家、井上ひさし先生からいただいた多くの素晴らしい本があります。この素晴らしい財産をぜひ活用していきましょう。

進む「読書離れ」

最近、活字離れや読書離れについて問題視されていますが、どの程度読書離れが進んでいるのでしょうか。

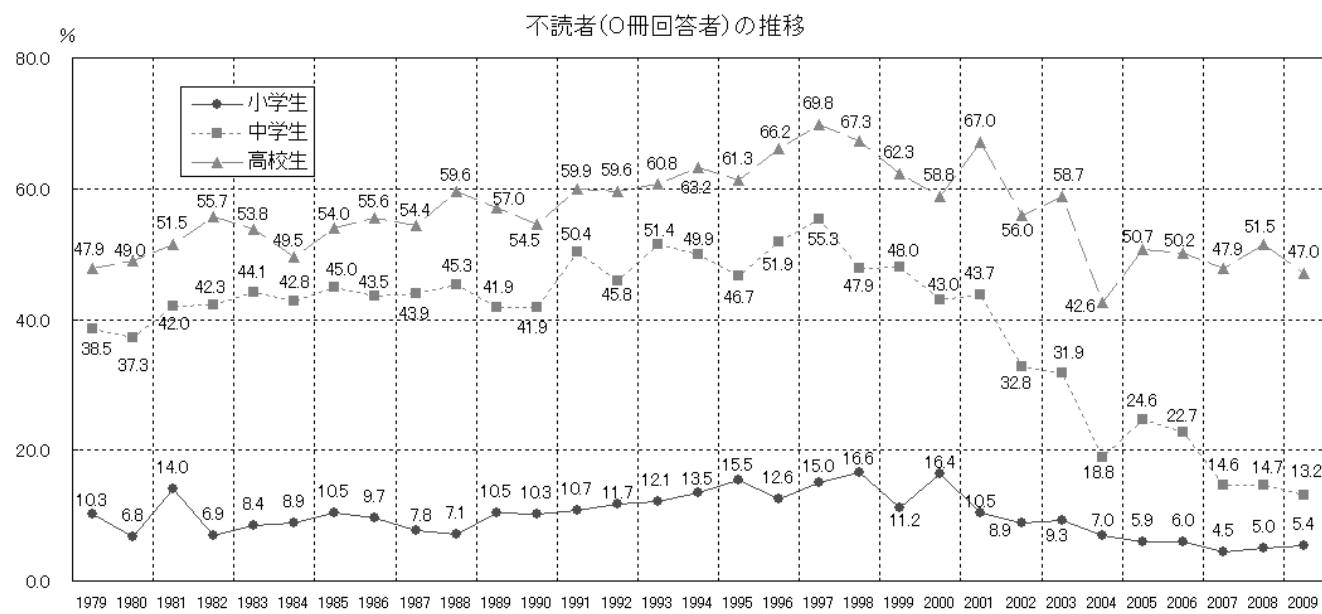
全国学校図書館協議会の「第55回読書調査結果」によると、高校生では1ヶ月に1冊も本を読まない人の割合が47%もいることが下記の表から読み取れます。

では、なぜ読書は必要なのでしょうか。

文化審議会の報告によると、読書は楽しく、知識が付き、ものを考えることを可能にするものであると言われています。

また、国語力との関係では、「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」、「国語の知識等」のいずれにも関わり、これらの力を育てる上で中核となっているとも言われています。

さらには、全ての活動の基盤である「教養・価値観・感性」などの力を身につけていくために不可欠であることも指摘されています。



▲全国学校図書館協議会「第55回読書調査結果」より抜粋

町の読書環境

遅筆堂文庫

本町の遅筆堂文庫は、昭和62年に井上ひさし先生から約7万冊の本を寄贈していただき開設されましたが、今年4月9日、残念ながら井上先生は逝去されましたが、井上先生からいただいたたくさんさんの素晴らしい本は、これから先もずっと人々に読まれ、読んだ方の心の中で生き続けるでしょう。

町では、文化と交流の拠点であるフレンドリープラザの充実を図るために、図書館1階にある遅筆堂文庫の雑誌・新聞閲覧コーナーを改修し、「井上ひさし常設展示場」を設置します。

井上先生の業績、年表、作品譜、蔵書等を設置しますので、井上先生の素晴らしい作品の数々を読んでもらいたく、と思っています。



読書感想文合宿

今年が国民読書年ということで、NPO法人遅筆堂文庫プロジェクトでは、町内の小学校4年生から6年生を対象に、「読書感想文を書こう」図書館合宿」を開催しました。

なかなか取り組みにくい読書感想文に対し、楽しく気軽に取り組み、子どもたちに読書を好きになってほしいという思いで行われました。

参加した児童からは「こんなに楽しく、すらすらと感想文を書けたのは始めてだった。ぜひまた来年も開催して



ほしい」という児童の声が多数聞かれました。

おはなし会おきらきらによる読み聞かせ

町内にはおはなし会きらきらという会があります。おはなし会きらきらは、平成6年に発足して以来、町内外の幼児施設や小学校等に出張し、絵本の読み聞かせをしてきました。

現在もフレンドリープラザで、毎月1回の読み聞かせや夏休みとクリスマスのスペシャルおはなし会の開催など、子どもが気軽に読書に触れ、親しむことができるように、活動を展開しています。

今年の4月には、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を実践している団体として評価を受け、「平成22年度子ども読書の日記念・子どもの読書活動推進フォーラム」で、文部科学大臣賞を受賞しました。



Interview

親子で同じ目線で読書を楽しんでほしい



▲小松小学校 松田 洋子先生

小松小学校では、少しでも子どもたちが読書に興味をもつことができるように、図書室の本をシリーズごとに分け、本を探しやすい環境を整えることから始めました。

また子どもたちが、読書を通じて達成の喜びを味わい、より読書を好きになるように読書賞を設けました。

父兄のみなさんにも、子どもたちと同じ目線で読書を楽しんでほしいと思います。

Interview

まずは自分の興味のある本を読んでみるのが読書を好きになる始まり



▲NPO法人遅筆堂文庫プロジェクト 遠藤 敦子さん

読書の世界は日常の生活から心を自由に解き放ち、様々な体験をさせてくれるものです。

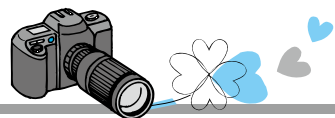
読書というと難しいというイメージをお持ちの方が多く、料理本や日曜大工の本、写真集などどんな本でも結構ですので、まずは自分の興味のある分野の本を、自分のペースで読むことが読書を好きになる第1歩だと思います。

ぜひみなさん図書館をご利用ください。

町では、井上先生が長い間、本町の文化振興と全国への情報発信に果たされた多大な功績に対し、先生の足跡や業績を伝えるため、「遅筆堂文庫と井上ひさし」、「作家井上ひさしの生まれた町」に関する情報を発信していきます。

また関係各機関と連携し、子どもも大人も自主的に読書活動を行うことができるよう、一層の環境整備推進と気運の醸成を図っていきます。





9/5

農村の活性化と若者の出会いを応援
〜2010若者の出会い♡ふれあいクッキング〜

▲置農生話を聞き、ニューみつ福「百恋」づくり

9月5日、農村環境改善センターと置賜農業高校を会場に「2010若者の出会い♡ふれあいクッキング」が行われ、男女12組24人の若者が参加しました。
このイベントは、町農業委員会の主催で、農村の活性化と若者の交流を目的に開催されました。
置農生が開発した、米粉を餅皮とした「百恋」や米粉のうどんづくりを通じた交流に、自然と話もはずんでいました。



9/4

極上の米沢牛すき焼きに舌鼓
〜第27回地酒と黒べこまつり〜

▲楽しくすき焼きを食べる参加者

9月4日、川西ダリヤ園を会場に、第27回地酒と黒べこまつりが行われ、霜降りの最高級の米沢牛すき焼きと町内4酒蔵の地酒が楽しめることから、町内外から多くの参加者が集いました。
今回提供された和牛は大沼藤一さん(大字西大塚)と寒河江勇造さん(大字堀金)が肥育したメス牛で、家族や友人とすき焼きや地酒を囲んだ参加者は、暑さも忘れて舌鼓を打ちました。



▲東沢地区体育祭「まり入れ」



▲玉庭地区大運動会トラック競技「浮気はしないで」

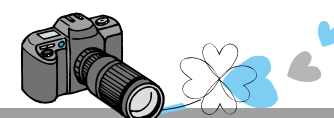
9/5

3地区で大運動会

9月5日、玉庭・東沢・吉島の3地区の運動会が、各小学校グラウンドを会場に開催されました。
当日は、朝は涼しく絶好の運動会びよりでしたが、日中は残暑が厳しくなりました。
各地区とも子どもからお年寄りまで参加し、また趣向を凝らした競技に、選手のみならず、各チームからの大きな声援を受け、一生懸命がんばりました。



▲吉島地区ふれあい大運動会「綱引き」



8/21

東沢地区夏祭り

▲今年結成された東沢のよさこいグループ「東あずま」



8/14

かわにし 夏の風物詩
いぬかわ夏祭り

▲いぬかわ夏祭りでの黒獅子舞



8/27

小松豊年獅子踊公演

▲全国でも珍しい豪快な火の輪くぐり



8/22

水上爆走大会2010

▲ダリヤ園隣接の鏡沼を軽快に駆け抜ける参加者



8/29

置農生が観光甲子園で最高賞を受賞
〜全国高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」〜

▲最高賞受賞の報告に訪れた置農生

8月29日、観光甲子園が神戸市で行われ、全国75校の125プランから選ばれた10校が、本選に出場。審査の結果、本町の置賜農業高校が見事最高賞を受賞しました。
同校は、本町出身の作家、井上ひさしさんの作品「下駄の上の卵」をモチーフに、小松のまち歩きツアーを企画し、発表しました。自分たちの町の事をよく調べていて、愛着が感じられる点や方言を使った温かい雰囲気がある点などが、審査員から最高の評価を受けました。



8/29

万が一の災害に備えて

▲犬川小学校校舎2階からの救出訓練

8月29日、犬川小学校グラウンドを会場に町総合防災訓練が開催されました。
今年度の防災訓練は、犬川地区自主防災組織や自治会が中心となり、町対策本部と連携し、万が一の災害に備えた実践的な訓練となりました。
当日は、震度6強の大地震を想定し、犬川小学校児童の避難訓練のほか初期消火訓練など各種訓練が行われました。自主防災訓練として玉庭・東沢・吉島地区でも開催され、意義深い訓練となりました。

町総合防災訓練

新しいA.L.T.に マイケル・ビシヨフさん

8月から新しいA.L.T.（外国語指導助手）として、マイケル・ビシヨフさんが着任されました。マイケルさんは、英会話などの補助教員として、2学期から小学校や中学校を訪問しています。町でお会いしたら気軽に声をかけてください。

マイケルさんから 町の皆さんへメッセージ

川西町の皆さん、こんにちは。私は新しいA.L.T.のマイケル・ビシヨフといます。どうかマイケルと呼んでください。8月1日に来日しましたが、とてもわくわくしています。

私の故郷はシカゴで、人口は大阪市と同じくらいです。川西町は、シカゴとは違いますが、生活環境が変わることは良いことです。川西町はとても静かで、セミがシカゴより大きな声で鳴っているのが印象的です。



私は、去年の5月にホノルルのハワイ大学を卒業しました。日本語と政治学を勉強してきました。大学生活の4年間で、ハワイは2番目の故郷になりました。川西町の皆さんの親切で寛大な心は、ハワイ住民の「アロハの心」に通ずるものがあります。山形県のきれいな山々の景色は、ホノルルのコオラウ山脈の景色と似ています。すぐに川西町が三番目の故郷になることでしょう。

私は、日本語が上手ではありませんが、一生懸命勉強して上手になりたいと思います。最後に、私に川西町で英語を教える機会を与えていただき、感謝しています。これから皆さんと仕事することを楽しみにしています。川西町の子供たちのために頑張ります。

子ども手当の申請は 9月30日までに お願いします

次に該当する方は、平成22年9月30日までに申請をすれば、子ども手当を4月分から受給することができます。

該当者には、5月にお知らせしておりますが、まだ手続きがお済みでない方や、該当すると思われる方は手続きをお願いします。

■児童手当を受給していなかった方で、中学生以下の子どもを養育している方

■児童手当を受給していた方で、新たに子ども手当の対象となる子ども（中学2年生、中学3年生）を養育している方

※9月30日までに申請しない場合は、申請日の翌月分からの支給となり、4月分からの手当は受け取れません。

申請忘れのないよう、お早めに手続きをお願いします。

☎町健康福祉課 福祉グループ
4216635

後期高齢者医療制度加入者の 医療費・介護費の 自己負担を軽減します

高額介護合算療養費制度

高額介護合算療養費制度とは

同一世帯に属する後期高齢者医療に加入されている方が、8月1日から翌年7月31日までに支払った医療費の自己負担額と介護保険の自己負担額を合算し、限度額を500円以上超える場合、申請により超えた金額をお返しの制度です。（平成21年度分については、平成20年4月1日から平成21年7月31日までに支払った自己負担額となります。）

支給対象者

申請が必要な方には、山形県後期高齢者医療広域連合から「高額介護合算療養費の支給申請のお知らせ」が届きます。申請は毎年必要です。

※計算期間の途中で山形県後期高齢者医療制度に加入（75歳到達、県外からの転入）された方や、資格を喪失（死亡、県外へ転出）された方には、他の医療保険

での自己負担の状況が把握できないため、お知らせを送付していません。

申請・相談窓口

支給対象と思われる方は、平成22年7月31日時点にお住まいの市町村に申請してください。平成21年度分は、平成21年7月31日時点でお住まいの市町村に申請してください。申請に際して持参するものなど詳しい内容は、その市町村窓口にお問い合わせください。

なお、他の医療保険や介護保険における自己負担の状況を全て把握することはできないため、支給対象となるかどうかのお問い合わせについては、市町村や広域連合では分かりかねますので、支給対象と思われる方は、申請されることをお勧めいたします。

☎町健康福祉課 医療給付グループ
4216640

支給額を計算する際の 限度額

所得区分		平成20年8月から平成21年7月まで計算する場合 (12か月で計算)	平成20年4月から平成21年7月まで計算する場合 (16か月で計算)
若い世代並に所得のある方		67万円	89万円
一般的な所得の方		56万円	75万円
低所得の方	住民税非課税世帯 (区分Ⅱ)	31万円	41万円
	所得なし (区分Ⅰ)	19万円	25万円



※上記の表は、平成21年度分の限度額です。12か月で計算した金額（左）と16か月で計算した金額（右）を比較し、より高い方の金額が払い戻されます。平成22年度については、左側の「12か月の限度額」を適用し、平成21年8月から平成22年7月までの自己負担額と比較します。医療保険では、入院時食事代、差額ベッド代などは自己負担額に含まれません。介護保険では、保険外の介護（予防）サービス、入所時の食費、居住費、特定福祉用具購入費、介護予防住宅改修費などは自己負担額に含まれません。

へき地保育所の募集は、次のとおりです。

- ◆募集施設・定員：玉庭へき地保育所 60名
東沢へき地保育所 50名
- ◆入所基準：原則として町内に住所を有する3歳児から5歳児の幼児
5歳児：平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ
4歳児：平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ
3歳児：平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ
- ◆申込方法：入所を希望する場合は、各保育所に入所申込書を期日まで提出してください。
- ◆入所許可：入所資格要件を審査し、平成23年2月に通知します。

- ◆保育料等（平成22年度分）：
入園料2,000円 月額保育料14,000円
- ◆その他：保育時間終了時から午後6時まで預かり保育あり。
- ☎玉庭へき地保育所 ☎48-2217
- ☎東沢へき地保育所 ☎48-2218

町外保育所入所について

町外保育所を希望する場合は、希望する市町との協議が必要となりますので、教育総務課子ども育成グループまで申し込みください。申込期日は募集期間と同じです。
なお、継続入所希望の方も1年の承諾となりますので、必ず申し込みください。

☎町教育総務課子ども育成グループ ☎42-6671

私立幼稚園（小松幼稚園）の募集は、次のとおりです。

- ◆募集対象：1年保育（5歳児） 10名
2年保育（4歳児） 30名
3年保育（3歳児） 30名
4年保育（満3歳児） 10名
- ◆受付期間：10月1日（金）～12月10日（金）
- ◆受付場所：小松幼稚園（申請書は同幼稚園に用意しています。）

- ◆その他：副食給食、スクールバス運行、預かり保育実施、私立幼稚園就園奨励費補助金あり。
- ◆入園体験 日時：10月2日（土）、11月6日（土）
受付時間：午前9時20分～9時40分
対象：入園前のお子さんと保護者
内容：遊び体験、紙芝居やお楽しみプレゼント
- ☎小松幼稚園 ☎42-2436

認可外保育施設の募集について

町内の認可外保育施設では随時募集を行っておりますので、入所を希望する場合は直接各施設までお問い合わせください。

- ☎パステルファミリー（西大塚） ☎090-8926-1628
募集対象：0歳（生後10カ月）～就学前まで
- ☎あおぞら保育園（上小松） ☎42-4105
募集対象：0歳（生後2カ月）～2歳まで
- ☎すくすくベビーホーム（上小松） ☎46-5156
募集対象：0歳（生後2カ月）～3歳まで



平成23年度

町立幼稚園・保育所の園児を募集します!!

募集期間は、
10月1日（金）～29日（金）です。

入園願書、入所申込書の受け取りおよび提出は、各幼稚園（北斗・中郡・吉島）、各保育所（小松・玉庭・東沢）で行います。



各幼稚園の募集は、次のとおりです。

- ◆募集施設・定員：北斗幼稚園 210名
中郡幼稚園 170名
吉島幼稚園 170名
- ◆入園基準：原則として町内に住所を有する3歳児から5歳児の幼児
5歳児：平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ
4歳児：平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ
3歳児：平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ

- ◆申込方法：入園を希望する場合は、各幼稚園に入園願書を期日まで提出してください。
- ◆入園許可：入園決定は、募集期間後に決定し、平成23年2月に各幼稚園から通知します。ただし、選考の結果入園できない場合があります。
- ◆保育料等（平成22年度分）：
入園料2,000円 月額保育料14,000円
月額バス使用料4,000円（片道2,000円）
- ◆その他：午前7時30分から始業時、保育時間終了時から午後6時まで預かり保育あり。
- ☎北斗幼稚園 ☎42-4808
中郡幼稚園 ☎42-4316
吉島幼稚園 ☎44-2821

小松保育所の募集は、次のとおりです。

- ◆募集定員：小松保育所 130名
- ◆入所基準：・原則として町内に住所を有する生後6カ月から就学前の児童（平成17年4月2日～平成22年9月30日生まれ）
・児童の保護者または家族が、次の事情により家庭での保育ができない場合
①家庭外で働いている。②家庭内で家事以外で働いている。③妊娠中か出産後間もない。④疾病・負傷し、または障がいを持っている。⑤病人や障がい者の介護をしている。⑥火災・風水害・地震などで復旧にあたっている。
- ◆申込方法：入所を希望する場合は、小松保育所に入所申込書を期日まで提出してください。

い。併せて、上記に該当する場合、児童の両親・祖父母が事業所に勤務している場合は「就労証明書」、病気あるいは長期介護の場合は「医師の証明書」等が必要です。その他家族が保育できないことを明らかにできる書類が必要です。

- ◆入所許可：入所資格要件を審査し、平成23年2月に通知します。
- ◆保育料（平成22年度分）：
月額保育料 0円～61,000円
（保護者の所得税額による）
- ◆その他：午前7時30分から始業時および保育時間終了時から午後6時まで時間外保育あり。給食あり。
- ☎小松保育所 ☎42-2810

川西ダリヤ園イベント情報

◆東北ダリヤ名花展

9月18日(土)～20日(月)(チケットブース右手)
ダリア愛好家自慢のダリヤ競技会を開催します。
見事なダリアが勢ぞろいします。

◆ダリアフォーラム 2010 in かわにし

9月18日(土) 14:00～(園内特設会場)
ダリア栽培関係者が一堂に会し、「ダリア」をテーマに開催します。

◆ダリアフラワーアレンジ展

9月23日(木)～26日(日)(チケットブース右手)
川西ダリヤ園ゆかりのフローリストのダリアアレンジを展示します。

◆古田敦也トークショー

9月26日(日) 13:00～(園内特設会場)

ネット川西で友好都市関係にある兵庫県川西市出身の元プロ野球選手古田敦也氏をお招きし、トークショーを開催します。



★整理券が無い方でも参加できますが、整理券をお持ちの方が優先入場となります。

<ご注意>

- ・雨天の場合は会場が変更となり、整理券をお持ちの方のみ聴講できます。
- ・座席の確保ができない場合がありますので、敷物などをご持参ください。

開園50周年を迎え、川西ダリヤ園では期間中様々なイベントを開催します。

◆かわにし秋まつり 10月9日(土)～11日(月)

★全国玉こんにゃく選手権 2010

★かわにしおいしいものフェア

★子どもの広場

★川西ダリヤ園開園50周年記念特別番組公開生中継



◀全国玉こんにゃく選手権 2010 参加者募集▶

1分間に何個玉こんにゃくを刺すことができるかを競います。勝ち進むごとに増えていく刺した玉こんにゃくはすべて持ち帰りOK。優勝者には豪華賞品を用意しています。目指せ玉こんにゃくキング!

日時: 10月10日(日) 11:00～
参加方法: 川西ダリヤ園に電話でお申し込みください。
参加料: 300円

◆かわにし特産品フェア 2010～食と花の競演～

10月23日(土) 10:30～15:00
場所: まどか、まどか周辺

☎川西町観光協会 ☎42-2112

♪「リンリン子育て広場」♪

リンリン子育て広場にお越しください。みんなで子育てを楽しみましょう。

＊日時 9月28日(日) 9:30～

＊場所 子育て支援センター

＊内容 身長・体重測定
講座「生活リズムと発達」
講師 町保健師

＊日時 10月6日(日) 9:30～

＊場所 川西ダリヤ園

＊内容 ダリヤ園内をみんなで散歩します。
※ダリヤ園の入園券は必要ありません。
※雨天の場合は農村環境改善センターになります。

＊日時 10月19日(日) 9:30～

＊場所 農村環境改善センター

＊内容 おいしく簡単クッキング
講師 町栄養士
※持ち物 エプロン、三角巾

☎子育て支援センター ☎44-2822

2010 人権啓発活動事業 in かわにし

心のおもしろトーク
ダニエル・カール
講演会



11.14(日)

会場 フレンドリープラザ

開場 13:00

開演 13:30～15:15

入場無料(定員712名)

入場無料ですが、入場整理券が必要です。

9月28日(日)より下記にて配布します。
町住民生活課、フレンドリープラザ、各地区交流センター、羽前小松駅、浴浴センターまどか、川西町商工会

☎町住民生活課 戸籍住民グループ ☎42-6615

「川西農業振興地域整備計画」
見直しのため地区座談会を
開催します

町報6月号において、川西農業振興地域整備計画の見直しについて、概要をお知らせしておりますが、昨年度一部改正された農振法の概要と制度の説明及び相談等に関する地区座談会を次のとおり開催しますのでお越しください。

農振法改正に伴う
農用地区域の除外要件

農用地区域内の土地を農用地以外の用途に利用するためには、町の農用地利用計画を変更して、農振除外を行った上で、農地の転用を受ける必要があります。

農振法の改正に伴い、従来の要件に「認定農業者等の農用地の利用集積に支障を及ぼすおそれがないこと」が新たに追加されました。また、土地改良事業等の事業完了後8年未経過の土地については、土地改良区や事業施行者の了解がある場合でも、法令に規定された手続きによらなければ農振除外は認められないこととなっております。

地域の農業の振興を図る観点から、公益性が特に高いと認められる事業については、例外規定が認められています(農振法施行規則第4条の4第1項第27号に定めるいわゆる「27号計画」)が、平成21年度の農振法改正に伴い、定住促進や雇用の受け皿の確保のみを目的とするなど、直接農業の振興を図るものでない場合は、27号計画にはなじまないとされました。また、27号計画の従来の要件に加えて、「認定農業者等の利用集積に支障がないこと」、「面的整備事業完了後8年を経過していること」と及び「定期的な検証(計画策定後5年間毎年実施を行うこと)」が新たに追加され、要件がさらに厳格になりました。



☎町農業委員会 ☎42-6646

地区名	日時	場所	時間
吉島地区	9月30日(木)	吉島地区交流センターきらり	午後7時～9時
大塚地区	10月1日(金)	大塚地区交流センター治平館	午後7時～9時
中郡地区	10月4日(月)	中郡地区交流センターみずほ	午後7時～9時
犬川地区	10月5日(火)	犬川地区交流センターえぐべ	午後7時～9時
玉庭地区	10月6日(水)	玉庭地区交流センター四方山館	午後7時～9時
東沢地区	10月7日(木)	東沢活性化センター	午後7時～9時
小松地区	10月8日(金)	中央公民館	午後7時～9時

地区座談会日程

☎町消防本部 ☎42-3700



このたび消防団活性化対策の一環として、消防団の象徴である団旗を更新整備しました。昭和30年、消防団発足以来55年間の歴史を見守ってきたこれまでの団旗から、より一層威厳ある団旗に更新されました。これからの川西町消防団を末永く見守っていくことでしよう。

消防団団旗を
更新整備



全国の川西が本町に集結

全国の「川西」と名がつく市町で「全国川西会議（ネットかわにし）」を構成しています。その総会が、8月10日（火）にフレンドリープラザを会場に開催されました。

全国の「川西」から13名が来町

全国川西会議を構成している兵庫県川西市、新潟県十日町市（川西地域）、奈良県磯城郡川西町の各市町長、議会議長など13名が来町されました。総会の前段として、同日開催された「全国かわにし商工サミット」の参加者も含めた合同開会式が行われ、その後、それぞれの会場に分かれて総会が開催されました。

全国川西会議の総会では、災害時の支援体制の確認、相互の広報活動の充実、そして連携及び情報交換の強化、交流の推進が話し合われ、相互の豊かなまちづくりを目指した取り組みが確認されました。

また、まちづく

声かけて 地域ぐるみでがん検診

9月はがん制圧月間です。国民のおよそ2人に1人ががんになる時代、検診によって早期発見・早期治療をし、あなたの大切なかけがえのない命を守っていきましょう。

今年度の検診も残り少なくなってきました。地区の交流センターで受診できなかった方、これから受診予定の方は、忘れずに受診しましょう。町報22ページの健康カレンダーに翌月の予定を掲載していますので、ご確認ください。

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にくすり健康寿命をのばしましょう

9月は健康増進普及月間です。生活習慣病は日常生活のあり方と深く関係しています。運動習慣の定着や食生活の改善等健康的な生活習慣を確立するよう心がけましょう。

町健康福祉課 健康グループ
☎42-66640

げんき親子の料理教室

日時：10月31日（日）午前9時30分～午後1時

場所：農村環境改善センター
内容：幼児期のお弁当についてのお話と親子で実習

対象：年中・年長の親子12組
参加費：1組につき600円
（幼児1人につき300円増）

持ち物：エプロン・三角巾・筆記用具・内履き（子ども）
空弁当箱（親子）

申込締切：10月25日（月）

町健康福祉課 健康グループ
☎42-66640

障がい者福祉制度研修会

開催日：9月26日（日）

場所・時間：吉島地区交流センター 午前10時～11時30分
生きがい交流館 午後1時30分～3時

対象者：障がい者・障がい者の家族、ほか関心のある方
※研修会終了後、相談コーナーを設けます。

町健康福祉課 福祉グループ
☎42-66635

こころを育む総合フォーラム in 山形2010

日時：10月2日（土）

午後2時～4時40分（午後1時30分開場）

会場：フレンドリープラザ

内容：第1部

県立置賜農業高校演劇部公演
食育ミュージカル「ベジタブルー！ワンダフル！！」

第2部 講演

演題「こころを育むとは？危機と不安のなかでいきる」
講師 国際日本文化研究センター 山折哲雄氏

町協働のまちづくり課 生涯学習グループ ☎42-66668

秋の古墳散策会 参加者募集

日時：10月9日（土）午前10時～

集合場所：下小松古墳群入口 集合（小雨決行）

日程：午前10時～
学習会「日本の中の下小松古墳群」
講師 県立うきたむ風土記の丘館長 佐藤鎮雄氏

りの推進状況について、本町と新潟県十日町市の事例を発表し、その後、情報交換を行いました。

総会翌日の11日（水）には、公立置賜総合病院を視察し、新澤医療監より、構成市町が共通の課題としている「地域医療を守り発展させる」というテーマで講演をいただきました。

全国かわにし商工サミットは商工会館で開催

同日開催となった商工サミットは、商工会館を会場に総会が開催されました。今年で10回目を迎える本総会には、3市町の商工会から16名が来町、本町からは、松浦会長以下10名が出席しました。

総会では、「魅力ある商工会とは・そのためには今何をなすべきか」をテーマに、停滞した経済情勢の下、新たな商工会像を模索するために、各地域の活性化策などの情報交換、協議が行われました。

午前11時00分～
古墳散策学習会（古墳群を散策し動植物を説明します。）
正午～

いも煮会（いも煮会の参加については、9月30日まで大川地区交流センターえぐぐぐべに会費1500円を添えて申し込みにください。）

町協働のまちづくり課 文化振興グループ ☎42-66668
大川地区交流センターえぐぐぐべ ☎42-26642

川西町民生活安全推進大会

町民のみなさんが安全で快適な生活を実現するための活動を行う関係団体が集まり、活動発表、表彰を行います。一般町民の方もぜひおいでください。

日時：10月19日（火）

午前9時30分～11時40分

場所：J A 山形おきたま本店

主催：町生活安全推進協議会
アトラクション：警察音楽隊による演奏

町住民生活課 住民生活グループ ☎42-66616

兵庫県川西市にアンテナショップがオープン

今年8月1日に阪神電鉄・川西勢口駅（のせぐち）ベルフロア・かわにしイースト1階に「特産マーケット 来個（ここ）かわにし」がオープンしました。これは、商工サミットで培ったネットワークを活かし、「かわにし」の縁でつながった特産品の販売や情報を発信するアンテナショップとしてオープンしたもので、本町の物産も店に並んでいます。川西市を訪れた際には、ぜひお立ち寄りください。



▲兵庫県川西市にオープンしたアンテナショップ 来個かわにし

町民のみなさんご協力をお願いいたします

「平成22年国勢調査」を実施します



国勢調査は、10月1日現在、日本に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な統計調査です。

調査の結果は様々な場面で利用されますが、とりわけ今回の国勢調査は、少子高齢化、就業・雇用などの実態を地域ごとに明らかにし、日本が直面している重要課題に対する施策に欠くことのできない統計データを提供するため、ご協力をお願いいたします。

調査実施におけるスケジュール

- ▼「調査のお願い」と「調査票」の配布
国勢調査員（以下、「調査員」）が、9月下旬から担当地区を巡回し、みなさんのお宅を訪問し配布します。
- ▼調査基準日 10月1日
- ▼「調査票」の回収
調査票の回収は、10月7日（木）までに調査員がそれぞれのお宅に伺います。回収できない世帯には再訪問します。

調査票の記入方法・提出方法

- ▼記入方法
調査票を調査員から受け取ったら、「記入の仕方」をよく読んでいただき、調査票A4判の表裏両面）の各項目に漏れなく黒鉛筆で記入してください。

提出方法

今回から調査票の提出方法は、全ての世帯に配布する「封入提出用封筒」に入れ、密封して提出してください（調査員が調査票を見ることはありません）。

このほか、郵送提出も選べます。郵送を希望するときは、「郵送提出用封筒」が調査票とともに配布されますので、調査票を三つ折りにしてポストへ投函してください（切手をはる必要はありません）。

また、調査員には、統計法によって守秘義務が課せられ、調査上で知り得た秘密を漏らしてはならないことになっており、世帯から提出された封筒も個人情報保護に配慮し、開封せず封をしたまま町に届けます。

※調査票に記入漏れなどがあつた場合は、確認のため町からご連絡することがあります。

国勢調査では「こんなこと」を調べます

- ▼世帯員一人ひとりに関する項目（15項目）
 - ①氏名
 - ②男女の別
 - ③出生の年月
 - ④世帯主との続柄
 - ⑤配偶の関係
 - ⑥国籍
 - ⑦現在の住居における居住期間
 - ⑧5年前の住居の所在地
 - ⑨在学、卒業などの教育の状況
 - ⑩就業状態
 - ⑪所属の事業所の名称及び 事業の種類
 - ⑫仕事の種類
 - ⑬従業上の地位
 - ⑭従業地または通学地
 - ⑮従業地または通学地までの利用交通手段
 - ▼世帯に関する項目（5項目）
 - ①世帯の種類
 - ②世帯員の数
 - ③住居の種類
 - ④住宅の建て方
 - ⑤住宅の床面積の合計
- ※以上合わせて20項目を調べます。

「かたり調査」や「金品の請求」にご注意ください

▼国勢調査を装った「かたり調査」にご注意ください。
▼国勢調査を装った不審な訪問者や電話・電子メールなどにご注意ください。

▼国勢調査では、電子メールで質問内容等についての問い合わせたり、金品を請求したりすることはありません。
▼不審に思った際は、回答しないで、町にお知らせください。

分からないことなどは「コールセンター」のご利用を

国勢調査の内容や記入方法などについて、不明な点やわからないことがありましたら、左記までお問い合わせください。

☎コールセンター
0570-012010
☎町役場総務課行政管理グループ ☎42-6610

くらしの情報掲示板

お知らせ

簡易チューナーを無償給付します

経済的な理由等で地デジ放送を視聴できない世帯に簡易チューナーを無償給付いたします。申込は**12月28日（火）**までです。

※詳しくは左記までお問い合わせください。
☎総務省 地デジチューナー支援実施センター
0570-033840

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆様へ

消防法令では、当該免状に貼ってある写真は、10年以内に撮影されたものでなければなりません。
また写真の書き換え申請をされていない方は、速やかに手続きをお願いします。

☎消防試験研究センター山形県支部
023-631-0761

催し

置賜農業高等学校「第2回観光甲子園」最優秀グランプリ受賞報告会

- ▼日時：9月25日（土）
午後5時30分～
 - ▼場所：中央公民館視聴覚室
 - ▼内容：受賞報告・受賞プレゼンテーションの発表
- ※お気軽にお越しください。
☎置賜農業高等学校
42-2101

湯るっとまつり

昨年5月、千代田クリンセンターの隣に、「湯るっと」がオープンしてから1年が過ぎました。
このたび開業1周年を記念して、「湯るっとまつり」を開催します。施設の無料体験、リサイクル体験、楽しいゲームなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを予定しておりますので、ぜひご家族連れでいらしてください。

▼日時：9月26日（日）
午前9時～午後2時

▼場所：湯るっと
千代田クリンセンター

☎置賜広域行政事務組合

希望が丘祭り

- ▼日時：10月2日（土）
午前10時～
 - ▼場所：コロナー希望が丘
 - ▼テーマ：「明日に向かって」
 - ▼内容：作品展示、授産製品販売、模擬店
- ☎山形県立コロナー希望が丘
46-3100

「活」就職面接会開催

- ▼日時：10月14日（木）
午後1時30分～4時（受付午後0時30分～）
 - ▼場所：ランドホクヨウ米沢
 - ▼募集対象：仕事をあ探しの方（学生を除く）
 - ▼申込方法：当日会場へお越しください
- ☎ハローワーク米沢
22-8155

全国一斉司法書士法律相談会

毎年10月は、法の日を記念して全国一斉司法書士法律相談を行っています。
相続・遺言、土地・建物の売買、賃貸借に関する相談やサラ金等の多重債務に関するお悩みなど様々な相談に応じ

ます。

- ▼日時：10月2日（土）
午前10時～午後4時
 - ▼場所：米沢会場
すこやかセンター
 - ▼相談料：無料
 - ▼予約：不要
- ☎山形県司法書士会
023-623-7054

熊野信仰をたどる史跡めぐり

- ▼日時：10月16日（土）
午後1時～午後5時
- ▼集合場所：町埋蔵文化財資料展示館
- ▼見学場所：大塚・堀金・大舟の熊野神社
- ▼講演：講師 飯豊歴史考古の会 井上俊雄氏
- ▼参加費：1000円（交流会費1000円は別途必要となります）
- ▼申込期限：9月30日（木）
- ▼申込方法：住所、氏名、電話番号、交流会の出欠を記載し、ハガキかFAXで左記までお申し込みください。

☎川西町文化財保護協会
佐々木勝幸 ☎42-6831
〒999-0121
川西町大字上小松813-1
FAX 46-2270

募集

事業提案(アイデア)追加募集

左記の7分野において、失業者を新たに雇用したうえで、地域の企業等で就業するために必要な知識・技術を習得させるための人材育成の事業提案を募集します。

▼分野…介護、医療、環境・エネルギー、農林水産、観光、地域社会雇用、ものづくり産業

▼採択…事業提案は、事業内容を所管する部局等が選考基準に基づいて審査を行い、採否を決定します。採択された事業提案をもとに、県が事業を企画または再構築し、入札等により民間企業等へ委託します

▼対象経費…新規雇用失業者の件費、研修に要する費用、その他必要な費用

▼募集期間…8月24日(火)～11月20日(土)

◎山形県緊急雇用対策本部
023163012711

置賜地区私立幼稚園教員採用統一試験

▼日時…10月23日(土) 午前9時40分～

▼試験内容…国語、作文、専門教養、一般教養、絵画制作、音楽、面接

▼試験会場…長井めぐみ幼稚園(長井市屋城町6-58)

▼受験資格…幼稚園教諭免許状所有者、または取得見込み者

▼採用人数…若干名

▼申込締切…10月6日(水)

▼申込用紙…左記までご連絡ください。

◎長井めぐみ幼稚園
023818811745

米沢平野土地改良区職員募集

▼採用予定人数…1名

▼受験資格…①昭和58年4月1日以降に生まれた方で、学校教育法による4年制大学を卒業、または平成23年3月までに卒業見込みの方

②普通自動車免許を取得、または採用時まで取得見込みの方

▼採用予定日…平成23年4月1日

▼試験日等…1次 11月6日(土) 米沢平野土地改良区

2次 合格者に通知

▼受付期間…9月27日(月)～10月12日(火)(※郵送の場合は10月12日(火)当日消印有効)

◎米沢平野土地改良区
2310015

山形県立産業技術短期大学校入学生募集

山形県の産業界を担う新進・中核技術者を育成する山形県立産業技術短期大学校では、平成23年度入学生を募集します。

【推薦入学試験】

▼出願資格…平成23年3月に山形県内の高等学校を卒業見込みの者で、A・B各募集区分に該当し、出身高等学校長の推薦を受けている方

▼募集人員…①機械システム系20名(A区分約17名、B区分約3名) ②知能電子システム科(A区分約12名、B区分約8名) ③情報システム科約12名 ④建築環境システム科(A区分約7名、B区分約5名)

▼出願期間…10月18日(月)～29日(金)

▼試験日…11月7日(日)

【一般入学試験】

▼出願資格…学校教育法による高等学校を卒業した方(平成23年3月卒業見込みの方を含む)、またはこれと同等以上の学力を有すると認められる方

▼募集人員…①機械システム系(デジタルエンジニアリング科、メカトロニクス科)約10名 ②知能電子システム科約10名 ③情報システム科約8名 ④建築環境システム科約8名

▼出願期間…11月22日(月)～12月3日(金)

▼試験日…12月12日(日)

◎山形県立産業技術短期大学校入試事務局
023164318431

置賜まちづくり学校2010受講者募集

歴史的な建物や町並みを活かしたまちづくりを座学と実践の両方から学ぶ講座です。置賜の仲間と一緒に自分達のまちの魅力を再発見して、住民自身によるまちづくりに参加してみませんか。

▼日程…第1回講座 日時…10月9日(土) 午前9時30分～午後4時

場所…土礼味庵(川西町)

内容…歴史的建造物保存活用の意義・歴史を活かしたまちづくりを学びます。

第2回講座 日時…10月19日(火) 午後6時～8時30分予定 場所…川西町内予定 内容…建物活用の留意点、企画の立て方などを学びます。

第3回講座(実践) 日時…10月下旬～12月上旬 内容…実際に歴史的建造物を使って自分達で企画します。

第4回講座(まとめ) 日付…12月22日(水)、1月19日(水) 内容…実践を振り返りかえり、今後のまちづくり活動に繋げていきます。

▼講師…西和夫先生(神奈川県立大学名誉教授)

▼募集人員…30名

▼受講料…大人1000円(学生500円)(高校生以上)

▼申込方法…電話で申し込みください。

▼申込締切…10月4日(月)

▼協力…川西町

◎(特)長井まちづくりNPOセンター
023818415537



今が青春。

やまもと ひでゆき
山本 栄之さん
(玉庭)

●昭和62年4月生まれ
●勤務先/有ひなたぼっこ

●仕事について
米沢のひなたぼっこという老人ホームに勤めています。老人介護は大変な仕事ですが、利用者の方に喜んでいただけた時はやりがいを感じます。

●趣味は?
週1回フットサルをしています。友達に誘われて始めたのですが、運動不足解消にもいいですし、ストレス解消にもなるので、楽しくやっています。

●好みのタイプは?
明るく元気な子がタイプですね。芸能人であれば、上戸彩さんのような方がタイプです。



今も青春。

ささき たけお
佐々木長男さん
(上奥田)

●昭和12年12月生まれ
●楽しみは?
体を動かすことは何でも好きですね。花壇や庭木の手入れを楽しみながらしています。

ダリヤも育てていますが、今年は例年になく暑い日が続き花の調子も良くないですが、早くいい花が咲くといいですね。

●健康の秘訣は?
暴飲暴食をしないことですね。タバコも昨年12月やめました。やめてからは、ご飯がさらにおいしく感じます。
お酒も一日に第3のビールを1本。何事もほどほどがいいのかもしれないですね。



◆採用試験案内、受験申込書及び受験票の請求

●直接受け取る場合
川西町総務課(役場3階)で交付します。

●郵便で請求する場合
封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、140円切手を貼り請求者宛先を記入した返信用封筒(角型2号封筒。A4判が入る大きさ)を必ず同封し、川西町総務課あて請求してください。なお、申込期限に間に合うようお早めに請求してください。
※採用試験案内は、町ホームページでもご覧いただけます。

◆受験の申込

受験申込書及び受験票に必要な事項を記入し、写真欄に写真を貼り、申込期限までに川西町総務課に、持参または郵送にて提出してください。

●受付日時 9月16日(木)～9月30日(木)
午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日を除く)
※郵送の場合は、9月30日(木)までの消印有効

◎町総務課 行政管理グループ ☎42-6610

募集 平成22年度 町職員採用試験

◆募集職種及び採用予定人員
・建築技師(1級または2級建築士)1名
・保健師 1名

◆試験日及び試験会場

試験	試験日	種目	時間	試験会場
第1次	10月17日(日)	建築試験	9:30～11:00	川西町中央公民館
		保健師試験	9:30～11:00	
		適応性検査	11:15～11:45	
		作文試験	13:00～14:30	
第2次	11月上旬	面接試験	第1次試験合格者に通知します。	

◆受験資格

日本国籍を有し、町内外を問わず川西町に通勤可能な方で、次の受験資格をすべて満たす方
・昭和56年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた方。ただし、建築技師については、昭和51年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた方。
・大学、短期大学、高等専門学校、高等学校を卒業された方または平成23年3月までに卒業見込みの方
・建築技師については1級または2級建築士の免許を、保健師については、保健師の免許を有する方または平成23年3月末日までに同免許を取得見込みの方

戸籍のまど

… 8月分届出…

お誕生 6人

出生子	性別	保護者	地区
佐藤 新大	男	義祥・美晴	上小松
小見 稔斗	男	竜哉・真理	上小松
佐藤 大雅	男	正明・洋子	下奥田
栗野 楓太	男	孝之・由郁	上小松
須貝 歩叶	女	健徳・知里	小松
吉村 莉々嘉	女	和寿・慶子	西大塚

ご結婚 5組

新郎	新婦	地区
川崎 洋	深瀬 祐理	時田
武田 哲	須藤 愛	西大塚
長岡 純一	情野 律子	洲島
長内 秀介	今野みゆき	中小松
渡部 努	大塚真由美	時田

おくやみ 19人

死亡者	年齢	世帯主	地区
齋藤 衛	64	衛	吉田
瀧 ミヨ	85	和弘	上小松
本田 よし	85	辰二	尾長島
田中 望らゑ	87	喜作	上小松
須貝 五郎	81	五郎	大塚
江本 久彌	91	久彌	中小松
高橋 ミエ子	84	壽	尾長島
鳥貫 政男	89	政男	上小松
松村 健治	92	健治	上小松
渡部 利美	35	利昭	上小松
高橋 孝宣	67	孝宣	中小松
梅津 みつよ	94	勝一	西大塚
高橋 正美	86	正彦	玉庭
金子 とも	90	友造	上小松
皆川 進	81	進	大塚
高橋 豊吉	80	豊吉	上小松
菅野 武美	87	武美	時田
安部みのゑ	85	活夫	大塚
安孫子健次	76	健次	時田

「戸籍の窓」に掲載を希望しない方は、届出の際に窓口（町住民生活課）でお伝えください。

9月・10月 水道修理当番



080-6008-8330 修理当番直通電話
080-6008-5331

町水道工事業者では、水道の故障、漏水などの際、当番制で修理をお受けします。上記番号で直接当番につながります。

期間	当番店(社)	電話番号
9月13日～19日	(株)殖産工務所	☎42-3500
	鹿間工務店	☎42-3036
9月20日～26日	(有)米野建設	☎42-2392
	齋藤設備	☎42-2480
9月27日～10月3日	(株)佐々木建設	☎42-4171
	サイトウ電気設備工業(株)	☎42-4111
10月4日～10日	(株)藤倉設備	☎42-3366
	(株)長沢建設	☎42-2230
10月11日～17日	(株)藤島建設	☎42-3166
	(株)黒澤技建	☎42-6351

10月 無料相談



内容	日時	場所	予約・問合せ先
健康相談(保健師)	10月12日(火)・25日(明) 午後1時～4時	町健康福祉課	町健康福祉課 ☎42-6640
行政相談	10月20日(水) 午後1時30分～4時	健康福祉センター(旧町立病院2F)	町住民生活課 ☎42-6616
特設人権相談	10月6日(水) 午後1時30分～4時	健康福祉センター(旧町立病院2F)	町住民生活課 ☎42-6616
弁護士消費生活相談	10月13日(水) 午後2時～4時	健康福祉センター(旧町立病院2F)	町住民生活課 ☎42-6616
心配ごと相談	毎週水曜日 午後1時30分～4時	健康福祉センター(旧町立病院2F)	川西町社会福祉協議会 ☎46-3040
多重債務相談	毎週火曜日 午後6時～8時	山形さくらんぼの会事務所(山形市)	山形さくらんぼの会 ☎023-633-9353

お詫びと訂正
町報8月号「戸籍のまど」お誕生欄の出生子の名字が誤って掲載されました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。
◎出生子 平田 真歩
◎出生子 平間 真歩

編集後記
◇9月になって例年になく暑い日が続きましたが、中旬に入り、やっと涼しさを感じるようになりました。それを感ずるように、アもどんどんきれいな花を咲かせています。ぜひみなさんダリヤ園にお越しください。
◎

10月 健康カレンダー

下記事業には個人通知書を差し上げていません。日時、場所、対象などを確認のうえ忘れずにお越しください。
■すくすく赤ちゃん健康診査 ■9・10か月児健康教室
■びかびか歯っぴい教室 ■各種予防接種
町健康福祉課 健康グループ ☎42-6640

母子健康手帳交付(妊娠届出日)

10/12(火) 25(月)	受付時間 9:00～13:00 場所 生きがい交流館 持ち物 妊娠届出書
----------------	--

すくすく赤ちゃん健康診査

10/13(水)	対象者 平成22年5月16日～7月15日生まれの乳児 受付時間 13:00～13:15 場所 生きがい交流館 内容 身体計測、診察等 持ち物 母子健康手帳、タオル、おむつ ※日中保育されている方も付き添ってください。
----------	---

3歳児健康診査

10/27(水)	対象者 平成19年4月1日～5月20日生まれの幼児 受付時間 13:00～13:15 場所 生きがい交流館 内容 身体計測、内科・歯科診察等 持ち物 母子健康手帳、問診票、尿、歯ブラシ ※フッ素を希望者に塗布します(負担金600円)。
----------	--

びかびか歯っぴい教室

10/14(木)	①対象者 平成20年10月生まれの幼児 受付時間 9:20～9:30(時間厳守) ②対象者 平成19年10月、平成20年4月、平成21年8月生まれの幼児ほか 受付時間 9:30～10:30 場所 生きがい交流館 持ち物 母子健康手帳、タオル、歯ブラシ ※フッ素を希望者に塗布します(負担金600円)。 ※2歳のお子さんは、うがいや歯みがきの指導がありますので、1時間程度かかります。
----------	--

ポリオ予防接種

10/29(金)	1回目:平成22年2月～5月生まれ 対象者 2回目:平成21年10月～平成22年1月生まれ 上記以前に生まれた90か月未満の未接種児 受付時間 13:15～13:45 場所 農村環境改善センター 持ち物 母子健康手帳、予診票 ※当日下痢をしているお子さんは見合せてください。
----------	---

各種検診(呼吸器・特定健診等)

10/25(月) 26(火) 27(水)	受付時間 7:30～9:00 場所 農村環境改善センター ※詳細は個人通知書をご覧ください。 ※特定健診等を受ける方は保険証が必要です。
----------------------	---

子宮がん検診・乳がん検診

10/29(金)	受付時間 13:00～13:20 場所 南陽検診センター ※詳細は個人通知書をご覧ください。
----------	--

はつらつ健康教室

10/5(火) 6(水)	受付時間 9:30～9:40 場所 中郡地区交流センターみずほ 対象者 健康診査を受けた75歳以上の方、関心のある方 内容 健診結果の説明、筋力維持・転倒予防の運動 ※動きやすい服装でお越しください。
--------------	--

9月24日～30日は結核予防週間です

結核は、今なお、年間約2万5千人の新規患者が発生し、約2千人が亡くなる、わが国最大の「感染症」です。せきやタンが2週間以上続くときは、早めに受診しましょう。

10月1日からの子育て支援(旧乳幼児)医療証を交付します

9月の更新対象者

- 平成21年9月2日～10月1日生まれの方
- 平成20年9月2日～10月1日生まれの方
- 平成19年9月2日～10月1日生まれの方
- 平成18年9月2日～10月1日生まれの方
- 平成17年9月2日～10月1日生まれの方
- 平成16年9月2日～10月1日生まれの方で、子育て支援(旧乳幼児)医療証の有効期限が平成22年9月30日の方です。

※現在医療証をお持ちでない方は、下記までお問い合わせください。

- 交付日 9月27日(月)から
- 手続き場所 町健康福祉課
- 持参するもの 印鑑、乳幼児等の健康保険証

なお平成22年1月1日現在、本町に住所のない方は平成22年度の所得証明書が必要とありますが、ありますのでお問い合わせください。※新医療証と旧医療証は交換になります。9月中に医療機関にかかる場合は、それ以降に手続き願います。

問合せ先 町健康福祉課 医療給付グループ ☎42-6640

かわにしスペンヤル

vol. 5

—かわにし魅力再発見—



▲江戸期の面影を残し、堂々とした構えの牛谷家の門

第5回 牛谷家の門（町指定有形文化財）

この門は、大塚館（大塚城）の大手門であったと言われ、大塚氏が伊達氏に従って仙台に移った後、貞亨3年（1868年）に牛谷氏が現在の場所に移築したと伝えられています。

牛谷氏は土豪として開拓を進め、領主に一大事がある時には家の子郎党をつれて馳せ参じ、その功績により侍格（郷土馬上）の待遇が与えられていました。

また、江戸時代の長屋門造りであり、門の北側は3間で、2つの武者窓があり、2つの部屋は土間と板敷きでした。南側は4間で1つの出格子が造られ、土間の造りでした。この中で地域の人々が武芸の練習（心地流剣術・伊東流鑑）をしていたと伝えられています。

現在の門は、平成6年に復元工事を実施し、町指定としては唯一の文化財建造物となっています。